

災害ボランティア活動報告(No.48)

活動場所:宮城県亶理郡山元町作田山(被災農家:斎藤様の農地)

今回は、バス参加43名、車での参加1名の総勢44名です。

春休みと言うこともあり。そして、震災から5年でマスコミ報道も多くあり、バスに目一杯の43名の乗車でした。キャンセル待ちの方々も18名とたくさんのお申し込みを頂きました。キャンセル待ちの方々申し訳ありませんでした、ご免なさい。

メンバーの方から2台だそうかとのお話もありましたが、18名でもう一台は無理だし募集を終わらせたのは1週間前であり、あと20人は難しいとの判断でした。それだけ集まらないと赤字になってしまいます。前々回は20数人しか集まらず、均等には行かず難しいですね。小さな団体で赤字続きでは継続できなくなります。

今回、多くの申し込みを頂いたので、夏にもボラバス出すことが出来るようになりました。これに懲りず、夏休みのボラバスにまたお申し込みお待ちしております。

近日、募集を開始したいと思います。

参加者の方々は、遠くは岡山、愛媛、愛知から来て下さいました。小学校5年生の女の子は徳島から来て下さいました、横浜の叔母様と同伴です。【震災でお困りの方々にボランティアしたい。小学生の女の子がそう思って徳島から上京してくれました。】本当に感謝です。日本は捨てたものじゃないと実感します。ボラバスやっていて良かったと再認識しています。今回は、高校生や大学生がいつも以上に多かったです。少子高齢化の日本ですが、彼らが、将来の日本を引っ張ってくれるだろうと期待しています。



※今回参加された皆様。若い力がみなぎっています。心強く感じました。

活動内容:今回は、収穫の終えたパプリカの片付けです。被災農家の斉藤さん曰く、ご夫婦で次回の苗付けを行えるようにするためには、夫婦で一つのビニールハウス片付けるのに1週間かかるそうです。3つのビニールハウスを片付けたので3週間分をお手伝いすることが出来ました。皆様有り難うございます。



※上左：写真。収穫後のパプリカ畑。上右：写真。若い皆さんが頑張ってくれました。



※上左：写真。こんなに綺麗になりました。上右：写真。次に植えるパプリカの苗。

※下左：写真。昼食時、斉藤さんがネギを炭火で焼いてくれました。簡単な料理ですが、味噌を付けて食べると、とっても美味しいです。そして、いつものようにネギを皆さん分お土産に頂きました。いつもいつも有り難うございます。

東日本大震災から5年経ちましたが、今回も多く初めての参加者の方々がおられます。高校生など若い方々が多いです。震災の時は小さくてボランティアに参加できず、遺構として残っている中浜小学校を見て、ショックを受けておられました。震災や津波の恐ろしさが実感できたようです。



若い方々のボランティアを行いたい。その気持ちの受け皿になれているのであれば、ボラバスをやっている意義があります。皆様、また、夏休みにお会いしましょう。